愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：一般検査研究班 提出日：令和 5 年 6 月 19 日 報告者：杉原 幸子

行事種別	基礎講座	行事番号	230001422	
開催日	令和 5 年 6 月 10 日 (土)			
時間	開始	15:00	終了	17:30
場所	ライブ配信			
テーマ	日当直で困らない尿沈渣の基礎 (上皮・血球編)			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	名古屋掖済会病院 杉原幸子			
講師	<p>1. 上皮細胞の見方 医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 西尾 祐貴</p> <p>2. 血球の見方 医療法人 青山病院 平田 基裕</p> <p>3. ケーススタディ 藤田医科大学 ばんだね病院 進藤 龍太郎</p>			
	<p>講演 1.上皮細胞の見方は、基本的上皮細胞類、変性細胞・ウイルス感染細胞、異型細胞類について構成部位、臨床的意義、形態学的特徴、鏡検時の注意点、類似細胞との鑑別方法について多数の沈渣画像を提示し、分かりやすく解説していただきました。参加者からは「上皮細胞の特徴を詳しく説明して、総合的に判断して鑑別をすることが出来た。」とのご意見を頂くことができました。</p> <p>講演 2.尿沈渣の基本的成分である赤血球、白血球について、臨床的意義、形態的特徴、類似成分との鑑別法について多数の沈渣画像を提示し、詳しく解説して頂きました。赤血球形態については症例を用いて疾患による形態の違いをより詳細に説明して頂きました。また血球が多い尿の対応の仕方についても述べられ、参加者からは「血球の多いときの対応の仕方など普段気になっていたところを説明していただき良かったです。」とのご意見を頂くことができました。</p> <p>講演 3. ケーススタディとして小児の IgA 血管炎に伴う紫斑病性腎炎症例を提示し、その疾患背景、診断の流れ、経過観察する上で何が重要な成分であるか判断する知識、今後どのような病態に陥る可能性があるかを解説されました。類似する IgA 腎症との鑑別について述べられましたが、「よく分からなかった」とのご指摘もあり、腎炎の難しさを再認識し今後も取り扱っていく必要性を感じました。</p> <p>今回の講演は日当直業務において最低限押さえて欲しい内容であり、「とても分かり易い内容で勉強になりました。」や、「類似細胞の鑑別点を並べて表示されていて分かり</p>			

	<p>やすかったです。」「基礎に戻って勉強できてよかったです。」とのご意見を頂きました。質問も多くあり、大変有意義な研修会となりました。</p> <p>現地開催が増えてきているなか本年度も WEB 開催で行われ、県外会員の参加も多くみられました。より慎重な配信テストを実施し定刻に配信することができましたが、途中「音声にノイズが入って聞きとりにくい」「声が遠い」などの指摘があり、ライブ配信の難しさを感じました。</p> <p>来年度は現地開催も含め、様々な意見や情報を共有できより満足度の高い開催方法を模索したいと考えます。</p>
参加者	<p>総数：218名（会員107名、県外会員111名、非会員0名、賛助会員0名、学生0名、その他0名、）・申込総数：344名</p>
共催、後援など	

2022.10.12